

授業科目名	コーチング演習	単位数	2単位
担当教員名	秋澤一輝	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
コーチングを行う上で基本となる計画、運営（マネジメント）、模範などについて深く学び、現在、抱えている問題を解決しながらさらにコーチングを追求できるようにすることを到達目標とする。			
授業の概要			
現代社会においてコーチ（指導者）に求められるものは多岐にわたる。目紛しく変化する社会の中でスポーツの占める役割は大きい。また、スポーツ指導者を取り囲む環境も大きく変化している。コーチング論ではスポーツにおける指導者の社会的役割を認識し、その上でコーチ（指導者）の役割と使命を把握する。			
授業計画			
第1回：スポーツとコーチ（指導者）の現状 第2回：現代社会におけるスポーツ 第3回：現代社会におけるコーチ（指導者） 第4回：我が国のスポーツプロモーション 第5回：理想とされるコーチ（指導者） 第6回：コーチ（指導者）の心構えと視点 第7回：スポーツ参加者の目的 競技力向上を中心にして 第8回：スポーツ参加者の目的 参加志向型を中心にして 第9回：スポーツ参加者の目的 自己達成との関係について 第10回：現代における体罰や暴力等ハラスメントについての検討 第11回：スポーツと心にかかわる諸問題 第12回：動機づけ（モチベーション）とコーチング 第13回：現代社会とスポーツにおける今後の課題 第14回：スポーツ現場における心理的な課題 第15回：コーチ（指導者）の心理的な取り組み 定期試験			
スクーリングでの学修			
現代社会とスポーツの関係を読み解いていくことによって、現代社会に求められるコーチ（指導者）を理解する。 (主に第1回～第5回、第10回～15回を中心に横断的な内容を含む。)			
テキスト			
特になし。適宜資料を配布します。			
参考書・参考資料等			
日本コーチング学会 (2017) 『コーチング学への招待』 大修館書店 978-4469268195			
学生に対する評価			
スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			